



戦略』の総仕上げとして、『子ども・子育て支援』、『防災・減災対策』、『観光振興』の三つの施策を重点施策として推進し、未来に夢を抱く町民の皆さんとともに、暮らしに豊かさ実感できるまちの実現に向けて全力を尽くします。

そして本年は、2020年度を始期とする『第6期厚岸町総合計画』と『厚岸町未来創生総合戦略』を策定します。厚岸町の将来を見据え、厚岸町をもっと元気なまちへ、そして町民の皆さん誰もが心から誇りを持てるまちへと向かう『道しるべ』となるよう、しっかりと取り組みます。

また、2020年は町制施行120年の節目の年でもあります。この記念の年を、町を挙げて祝うため、

本年はその準備をしっかりと進めま

## 主要な施策の推進

平成31年度において、私が取り組む主要な施策の推進について、第5期厚岸町総合計画の5本のまちづくりの柱に沿って進めます。

### 自然との調和を大切にしながら、快適で安全なまちづくり

まちづくりの柱の一点目は、『自然との調和を大切にしながら快適で安全なまちづくり』です。厚岸町の基幹産業である漁業と農業を守り育て、次の世代に継承していくため、『厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画』に示す行動指針に基づき、町、町民、事業者が協働で厚岸町クリーン作戦などの環境保全活動に取り組みます。

エゾシカによる農林業被害は、平成26年度をピークに減少に転じているとはいえ、依然として高い水準にあることから、引き続き関係機関と連携し、個体数の適正管理のための計画的な捕獲を実施します。

また、市街地に出没するエゾシカの対応は、囲いわなを1基増設し、捕獲の強化を図ります。

特定外来生物の対応は、漁業や生態系への被害を防止するため、引き

続きウチダザリガニの計画的な防除に向けた取り組みなどを実施します。

限りある資源を大切にして、二酸化炭素などの地球温暖化対策ガスの排出を抑制するため、町有施設を対象とした『厚岸町地球温暖化対策実行計画』に掲げる目標達成に向けた施策を着実に推進するとともに、町内中小企業における節電診断や省エネ診断の普及促進について、関係機関と連携し、取り組みます。

町民生活と産業活動の基盤である水道事業は、今後の財政収支見通しを明らかにするため、水道施設の長期的な更新計画の策定に着手するとともに、新たな水源開発の可能性を検討する調査に着手し、建設から45年を経過する浄水場などの老朽化した重要施設の更新を見据えて、より効率的な経営に努めます。

簡易水道は、上尾幌地区の老朽化した水道管の更新整備に向けた現況測量調査などに着手するほか、太田・片無去地区は、営農用水の安定供給を図るため、水源の見直しと老朽化した水道施設の更新整備に向けて、北海道が事業主体となり基本計画の策定が進められます。

下水道事業については、白浜3丁目地区の污水管整備を完成させるほか、新たに白浜4丁目の未整備地区の整備に着手するとともに、終末処理場などの老朽化した重要施設の計

画的な整備を進めます。

また、災害に備え、移動式発電機などの資機材を配備し、危機対策の強化を図ります。

公共下水道による整備を予定していない地区では、生活排水処理施設の整備を促進するため、合併処理浄化槽設置に対する支援を継続します。

高速道路については、釧路外環状道路の釧路別保インターチェンジが本年3月9日に開通します。

また、北海道横断自動車道根室線『厚岸町尾幌・糸魚沢間』は、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会が主体となった要望活動などが実を結び、本年1月30日に新規事業化に向けての概略ルートが決定されたところであり、今後も早期着工に向けて、関係市町村や団体との連携の下、引き続き強力に要望活動を行います。

町道は、太田門静間道路と床潭末広間道路の整備、筑紫恋道路の歩道改修、太田地区の防雪柵整備、お供橋の長寿命化工事、真栄1条通りのほか路面の損傷が著しい箇所のおーバーレイなどを継続します。

また、新たに宮園町東1の通り、宮園台1号通りの改良舗装工事とトライベツ地区町道法面整備の実施設計を行います。

地域公共交通については、鉄道、バスとともに、通院・通学のほか高齢